

靴式下肢加重計（片足） 仕様書

1. 機器構成

No	機 器	数量	規格
1	靴式下肢加重計 (機器構成) 計測センサー片足分 専用靴両足分 (片足はダミー靴) 送信機片足分 ノート PC 2in1 計測、解析ソフトプログラム カラープリンタ	1	MP-1000

※靴式下肢加重計は、アニマ株式会社製とする。その他の附属品等も本体と接続可能なものとする。

2. 使用目的

下肢骨折、大腿骨頸部骨折など患者さんの訓練と評価に使用する機器。

3. 機能・性能

(1) 計測部（荷重センサー）は以下の要件を満たすこと。

- 1-1 荷重センサーの計測方式はワイヤーストレインゲージ方式であること。
- 1-2 荷重センサーの計測荷重範囲は、0kg～100kgf 以上であること。
- 1-3 荷重センサーの形状及び寸法は、50mm（縦）×50mm（横）×9mm（高さ）以下であること。

(2) 計測部（計測手法）は以下の要件を満たすこと。

- 2-1 計測データ取得手法は立位計測及び歩行計測可能な靴型であること。
- 2-2 片足側の靴内部には、前足部計測荷重センサーと後足部計測荷重センサーの合計2ヵ所装着して計測可能なこと。
- 2-3 被験者の足の大きさに合わせて、センサー位置を任意に可変できること。
- 2-4 片足側データ計測のみの場合は、反対足側用のダミー靴があること。
- 2-5 片足側データ計測のみの場合は、反対足側用のダミー靴にセンサー装着出来て左右足のどちらでも計測可能なこと。
- 2-6 計測データ出力はリアルタイムにてワイヤレス送信されること。

(3) 計測部（データ処理機能）は以下の要件を満たすこと。

- 3-1 計測中のデータは、前足部と後足部の分離荷重、及び合成荷重がリアルタイムにて画面表示されること。

- 3-2 サンプルング周期は 100Hz 以上であること。
 - 3-3 視覚と聴覚によるバイオフィードバック訓練可能なこと。
 - 3-4 免荷訓練の設定方法は、荷重又は体重値にて任意範囲指定可能なこと。
 - 3-5 歩行時でも被験者に付き添いながら画面を見せて訓練できることが可能なタブレット型であること。
 - 3-6 左右足立脚期正規化の数値及びグラフ描画、左右足ストライド正規化時間因子解析の数値及びグラフ描画、ピーク・ボトム解析機能があること。
 - 3-7 計測データはすべて保存可能なこと。
 - 3-8 保存されたデータは jpeg 出力及び CSV 出力可能なこと。
 - 3-9 訓練及び計測データは A4 サイズにて任意印刷可能なこと。
- (4) その他
- 4-1 日本語対話方式にて誰でも簡単に操作可能なこと。
 - 4-2 個人情報保護の対応策として、特定の USB キーを使用しない限りソフトウェア使用不可能なこと。

4. 納入期限

契約の日から 90 日以内とする。

5. その他

- (1) 操作説明会は求めに応じ、適宜開催すること。
- (2) 作業は、納期、作業期間のスケジュールについて事前に打ち合わせを行い、そのスケジュールに従い完了すること。
- (3) 納入検査後 1 年間は、使用者の責に帰さない故障に対しては、無償にて修理もしくは交換を行うこと。
- (4) 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。
- (5) 納入及び引取に係る経費については、入札価格に含むものとする。